

西多摩保健医療圏域の取り組み紹介

大久野病院

西多摩高次脳機能障害支援センター

○ 作業療法士 工藤美和

【はじめに】

当院は平成 22,23 年度の二カ年、「高次脳機能障害者支援普及事業『専門的リハビリテーションの充実モデル』」事業（以下、モデル事業）を東京都から委託され、平成 22 年 10 月から『西多摩高次脳機能障害支援センター（以下、センター）』を院内に設立し、運営している。事業内容は、当院内で平成 18 年から運営していた西多摩地域リハビリテーション支援センターでの相談事業において高次脳機能障害に対する問い合わせを基にし、下記のように行った。今回はその事業内容と今後の事業展開について紹介する。

【事業内容】

- ① 相談支援事業
電話等による相談支援。
- ② アドバイザー事業
センター内外における高次脳機能障害の支援に関するアドバイス。
- ③ 診断支援事業
確定していない高次脳機能障害者に対する診断支援。
- ④ 支援者養成事業
『高次脳機能障害生活支援員』の養成。
- ⑤ 事例検討事業
地域における高次脳機能障害に関する事例の蓄積や、事例検討。
- ⑥ 地域ネットワーク促進事業
『高次脳機能障害生活支援員』連絡会、秋川・多摩川流域の市町村・医療機関・各施設・家族会などの連絡会。
- ⑦ 調査研究事業
ニーズ調査、資源調査、後追い調査などのアンケートや聞き取り調査。
- ⑧ 高次脳機能障害理解促進事業（研修会の開催等）
地域住民も含めた高次脳機能障害の理解促進のための研修会。
- ⑨ 高次脳機能障害理解促進事業（その他）
当事業概要におけるチラシ、高次脳機能障害に関するパンフレットの作成、および配布。

【今後の事業展開】

モデル事業の 2 年間を通じて、『高次脳機能障害』という言葉そのものやその概念、当センターの存在を西多摩保健医療圏域内に周知ができたように思う。しかしネットワークの構築はされてきたが、高次脳機能障害における地域連携の構築はまだまだ不十分な状況である。今後は医療と福祉、介護の連携が良好に図れるような事業展開も図っていきたい。